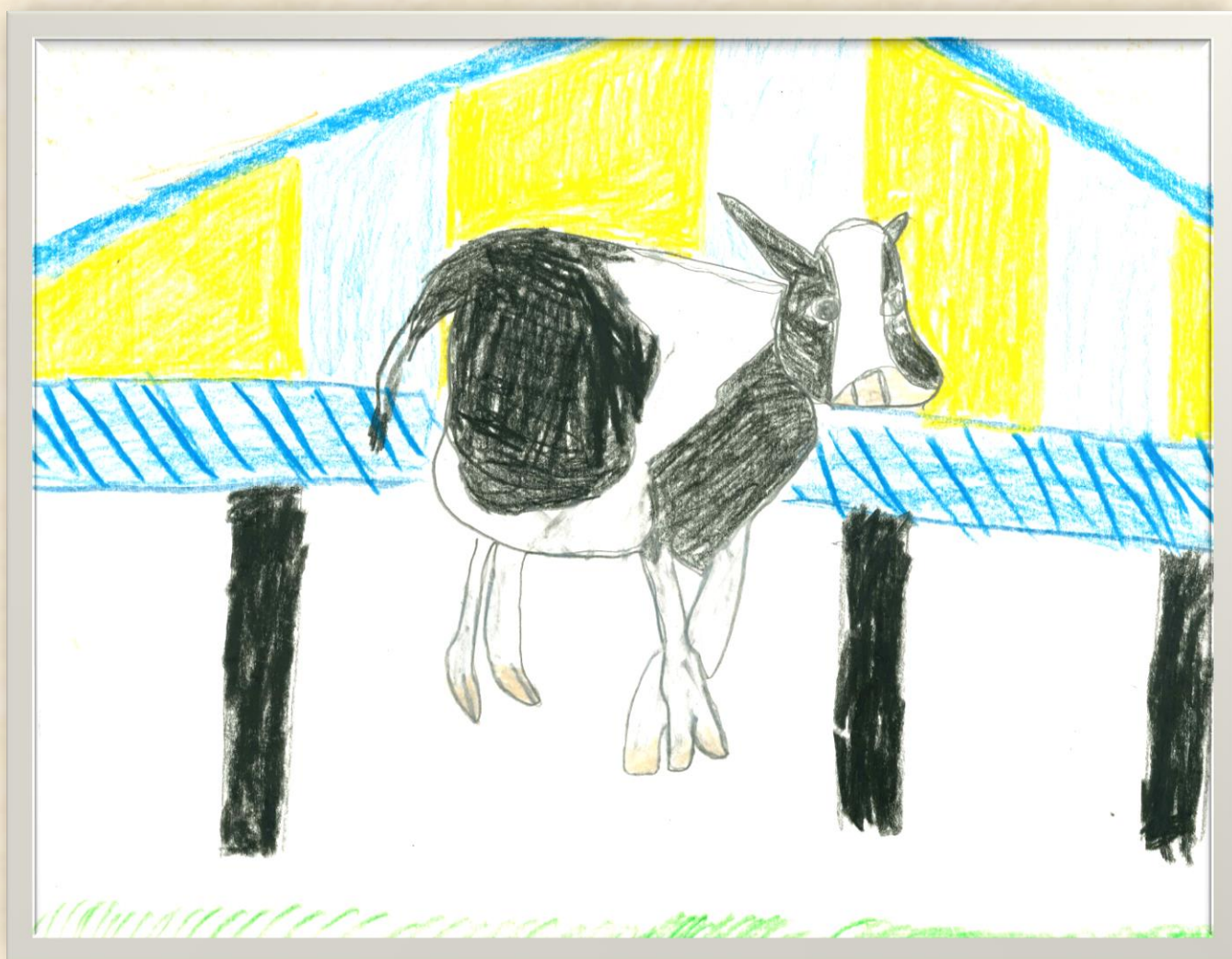


ひょうごらくのうメモ 6

2024JUN



表紙:『楽しかった らくのうフェスティバル』南あわじ市 安田光希さん
第41回 らくのうひょうごフェスティバル・絵画コンクール より

フルカラー版は組合ホームページから
ご覧いただけます。



発行：兵庫県酪農農業協同組合
神戸市西区伊川谷町潤和1058
西神文化センター3階

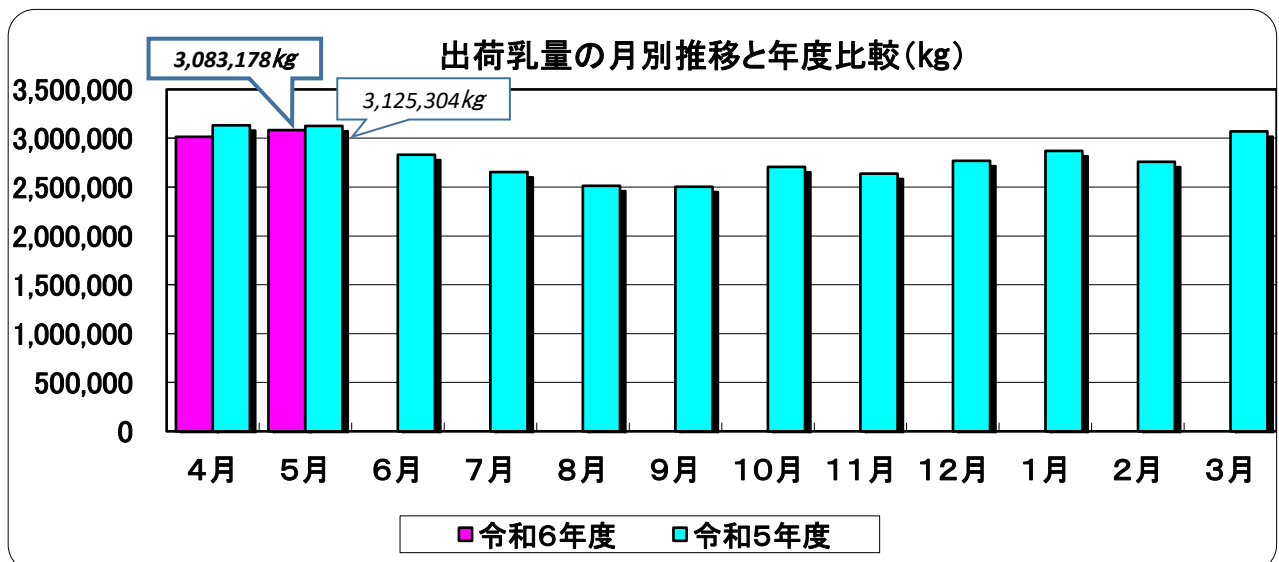
生乳生産統計

1. 全国(令和6年4月・農林水産省牛乳乳製品の生産動向より)

	生乳生産量 (千トン)	対前年比 (%)
令和 6年 4月	635.0	101.1
令和 6年 5月		
令和 6年 6月		
令和 6年 7月		
令和 6年 8月		
令和 6年 9月		
令和 6年10月		
令和 6年11月		
令和 6年12月		
令和 7年 1月		
令和 7年 2月		
令和 7年 3月		
令和 6年度累計	635.0	101.1

2. 兵庫県酪農協取扱い分(公共施設除く)

地 区	令和 6年5月		年度累計		出荷農家 戸 数
	生乳生産量 (k g)	対前年比 (%)	生乳生産量 (k g)	対前年比 (%)	
阪神地区	561,907	98.5	1,111,929	97.6	19
播州地区	368,680	91.4	731,589	89.7	15
丹但地区	270,764	87.1	539,589	86.1	13
淡路地区	1,881,827	102.2	3,731,849	101.6	78
合 計	3,083,178	98.7	6,114,773	97.7	125



理事会報告

令和6年6月4日(火)、第1回理事会をWEB会議方式により理事4名、監事2名の出席のもと開催した。組合長挨拶の後、令和6年度生乳計画生産進捗状況、令和5年度加工原料乳生産者補給金の支払いについて報告し、次の事項を協議した。

①令和5年度事業報告並びに収支決算について

業務報告書に基づき、事業報告、収支決算を承認した。

②令和6年度事業計画並びに収支予算について

事業計画書案に基づき、各事業、収支予算案を承認した。

③役員候補者の選任について

役員候補者推薦会議から提出された推薦書により候補者の選任を承認した。

④第9回通常総会の提出議案について

6月27日に開催する通常総会の提出議案の決定を行った。(第1号議案から6号議案まで)

⑤総会運営について

議決方法・役割分担・来賓先・会場設営等確認決定した。

⑥地区別懇談会について

6月11日(淡路地区)・6月13日(本州側)開催を承認した。

⑦借入金の最高限度額及び余裕金の運用について

令和6年度の借入金の最高限度額及び余裕金の運用を決定した。

⑧集乳伝票方式のチェックシートについて(追加議案)

伝票未記入時の対応について協議した。

◆ 主な行事予定 ◆

6月

17日 令和6年度兵庫県畜産協会定時総会
(農業会館)

岩崎税理士事務所巡回税務監査

20日 兵庫県環境負荷軽減推進協議会総会

21日 日本ホルスタイン登録協会第74回通常総会
(東京町田)

25日 内部管理職会議

令和6年度全国酪農協会通常総会・理事会

令和6年度全酪連大阪支所管内役員候補者等
選考会議(WEB)

27日 第9回通常総会・理事会
(西神文化センター大ホール)

28日 淡路地域農業後継者育成対策協議会
(洲本総合庁舎)

7月

1日 職員会議(WEB)

全酪連・ブロック別会長・組合長(新大阪)

2日 近畿生乳販連理事会(WEB)

4日 第27回近畿獣医畜産技術交流会(共済会館)

16日 近畿生乳販連理事会・通常総会

技術情報

夏場に気をつけたい脂肪肝 ～肝臓のおしごと～

全酪連 大阪支所
購買 畜産課
松崎 なつみ

はじめに

日頃より大変お世話になっております。6月も半ばに入り天気予報に雨マークが並び日が増えてきました今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。湿度が一気に上がる梅雨時期は、牛も人も気温以上にバテてしまうので気を付けていきたいですね。

さて、今回は「夏場に気をつけたい脂肪肝 ～肝臓のおしごと～」と題しまして、夏の食欲不振時や分娩後の立ち上がりで注意したい脂肪肝についてお話したいと思えます。皆様の飼養管理に少しでもお役に立てれば幸いです。

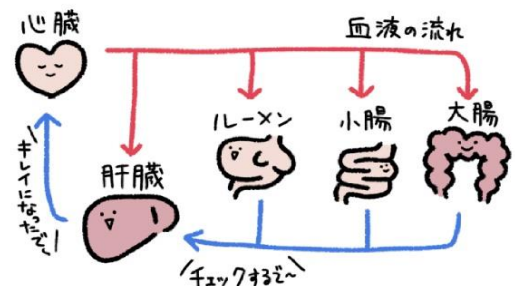
肝臓のおしごと

肝臓では、主に脂肪を分解する働きのある胆汁分泌やホルモン分泌のほかに、健康を維持するための重要な役割を担っています。ここでは、特に血液循環に関するおしごとをご説明します。

① 血液のチェック

消化器官は体にとって良いものか有害なものか判断ができないため、取り込んだ全てを血液中に吸収されてしまいます。そこで、肝臓は**有害なものが全身に回らないようチェック**し、必要に応じて**解毒**しています。

例) ルーメン内で発生したアンモニアは血液中に吸収され肝臓で尿素に変換します。



② ブドウ糖の生成

乳牛は、ルーメン発酵によって生成され、ルーメン壁から吸収される酢酸・プロピオン酸・酪酸（揮発性脂肪酸：VFA）をエネルギー源として大きく依存します。飼料中のブドウ糖を直接小腸から吸収して利用するのはわずかです。ルーメンから吸収されたVFAは血液を介して肝臓へ運ばれます。牛の肝臓はプロピオン酸を材料に、生命維



持や**生乳中の乳糖合成に必要不可欠な血糖を作る**役割を担っています。この働きを糖新生と言います。※プロピオン酸の原料はデンプンです

③ 栄養の貯金箱

肝臓は、血液中から取り込んだ脂溶性ビタミン（A,D,E,K）や鉄分を貯蔵する役割があります。また、体脂肪を分解・動員してできた脂肪酸を溜め込みます。

夏場に気を付けたい脂肪肝

乳牛は、エネルギー不足になると自分の体脂肪を大量に動員・分解して脂肪酸を作り肝臓へ送ります。肝臓は脂肪酸をエネルギーに変換しますが、使いきれなかった脂肪酸は中性脂肪として肝臓内に溜まっていきます。脂肪が溜まりすぎると「脂肪肝」になります。

通常、エサの形で摂取する脂肪の量は比較的少なく、健康的な乳牛の場合は脂肪が溜まりすぎることはありません。また、脂肪は疎水性が高く血液で運びにくいエネルギーなので、運びやすい物質（ここでは 船 と表現して説明します）に運んでもらいます。脂肪酸であればアルブミン、中性脂肪であれば蛋白質が船の役割を果たします。



暑熱の影響により採食量減少や必要エネルギー量増加し、エネルギー不足が続くと、**肝臓へ大量に脂肪が動員**されていきます。そして、**脂肪を送り出す船が不足**することで脂肪が肝臓に溜まり、代謝障害の原因となってしまう恐れがあります。

肝臓に脂肪を溜めさせないポイント

① エネルギー不足にさせない ⇒ 負のエネルギーバランスにしない管理

- ☑ 泌乳後期～乾乳期間中に過肥にしない
- ☑ 分娩直後は乾物摂取量をなるべく早く回復させる など

② 脂肪を送り出す船を増やす ⇒ **代謝タンパク（MP）の要求量を充足させる。**

蛋白質の元であるコリンやメチオニンを給与する

- ☑ コリンやメチオニンはルーメン内で生成される一方で、微生物によって分解もされるため、ルーメンバイパスコリンの給与が重要です。（快肝がおススメ！）

③ 脂肪組織からの脂肪動員を調整する ⇒ 肝臓代謝を助けるナイアシンを給与する

- ☑ ナイアシンは血中遊離脂肪酸（NEFFA）の上昇を抑制し、肝臓への脂肪の取り込みを減らす働きがあります。
- ☑ ナイアシンはルーメン内で生成される一方で、微生物によって分解されるため、ルーメンバイパスナイアシンの給与が重要です。（ナイアクールZがおススメ！）



（出典：DairyJapan ここはハズせない乳牛栄養学①より）

おわりに

乾乳期に太ってしまい分娩後の立ち上がりが良くない、暑熱ストレスによりバテているなど、牛の調子にお悩みの方は今年こそ対策をしてみませんか？先述説明しました、バイパスコリン・パントテン酸などを含有する「快肝」「快肝プラス」などの肝臓をケアできる製品を取り扱っておりますので、利用を検討していただければと思います。

快肝▶



全酪連では、6月1日～8月31日まで『夏を乗り切ろう！肝臓ケアキャンペーン』を行っております。内容は全酪連職員までお尋ねください。

ご不明な点がございましたら、お近くの全酪連職員へお問い合わせいただければと思います。今後とも宜しくお願い申し上げます。

参考情報

淡路家畜市場情報

令和6年5月第2金曜日

F1 スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回	14	119,821	171,600	55,000			57
前回	18	114,339		184,800	51,700			56	5,482	4.8%	
前年	6	187,367		226,600	156,200			53	-67,546	-36.1%	
オス	今回	13	154,931	199,100	108,900			56			
	前回	18	153,450	215,600	82,500			57	1,481	1.0%	
	前年	8	184,113	227,700	126,500			56	-29,182	-15.9%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

ホルス スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回							
前回											
前年											
オス	今回										
	前回										
	前年	4	39,050	46,200	29,700			55	-39,050	-100.0%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

* 前は令和6年4月第4金曜日・前年は令和5年5月第2金曜日

令和6年5月第4金曜日

F1 スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回	10	180,620	251,900	55,000			57
前回	14	119,821		171,600	55,000			57	60,799	50.7%	
前年	12	136,125		177,100	49,500			56	44,495	32.7%	
オス	今回	6	168,850	260,700	97,900			57			
	前回	13	154,931	199,100	108,900			56	13,919	9.0%	
	前年	12	159,225	240,900	27,500			60	9,625	6.0%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

ホルス スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回							
前回											
前年											
オス	今回										
	前回										
	前年	4	37,400	60,500	13,200			56	-37,400	-100.0%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

* 前は令和6年5月第2金曜日・前年は令和5年5月第4金曜日

隣県家畜市場情報

乳用種(雄のみ)

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計(全国)		
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	
3年次	83,134	947	92,646	1,184	74,198	254	108,163	98,856	
4年次	61,056	878	68,011	1,060	60,809	224	70,776	85,621	
5年次	29,220	543	34,615	1,067	23,993	117	50,602	71,669	
5	1	15,738	78	27,690	58	19,500	22	23,711	5,826
	2	15,420	56	22,022	99	12,624	21	36,078	5,457
	3	32,237	49	30,240	53	10,633	12	51,012	6,592
	4	34,608	39	43,205	90	47,594	15	58,915	5,810
	5	65,572	36	67,518	79	50,008	13	69,390	6,043
	6	67,793	27	74,466	79	59,620	5	76,121	6,049
	7	52,833	33	60,202	74	11,000	1	64,051	5,771
	8	31,746	57	28,792	138	取引なし		38,962	6,771
	9	15,620	45	17,446	107	20,411	9	32,738	5,721
	10	16,375	53	15,531	84	3,713	8	45,190	5,949
	11	18,925	44	24,182	123	6,160	5	55,887	5,995
	12	26,865	26	22,490	83	11,367	6	54,285	5,685
6	1	30,056	34	38,463	90	取引なし		46,203	5,796
	2	33,259	34	33,658	92	14,300	4	46,549	5,562
	3	36,770	49	29,348	103	31,625	4	50,541	5,500
	4	42,848	42	34,354	78	41,800	3	64,268	5,843
	5	52,631	26	39,394	32	70,767	6	87,981	4,218
	6								
	7								
	8								
	9								
	10								
	11								
	12								

交雑種・乳

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計(全国)		
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	
3年次	210,211	6,047	193,481	4,181	230,848	1,993	181,918	178,394	
4年次	157,307	6,259	149,060	3,820	190,213	1,918	135,855	174,435	
5年次	122,559	6,136	118,800	3,797	164,470	1,740	94,892	180,638	
5	1	115,818	567	103,190	309	147,300	186	79,231	15,219
	2	115,327	470	103,410	331	144,020	179	93,942	14,311
	3	123,802	587	117,235	331	158,154	197	102,795	15,544
	4	157,892	531	138,296	315	195,491	203	111,958	14,394
	5	188,398	436	177,927	221	219,636	127	123,340	14,179
	6	204,456	298	202,847	271	250,721	111	139,965	13,253
	7	190,503	353	184,677	242	239,165	97	128,267	13,148
	8	131,660	527	123,996	394	152,514	74	86,471	16,037
	9	89,548	562	92,832	339	156,607	135	72,652	15,330
	10	81,329	653	74,372	339	112,121	140	69,375	16,525
	11	77,949	545	82,405	370	109,956	147	76,318	16,520
	12	82,404	607	82,359	335	131,580	144	73,165	16,178
6	1	96,405	549	93,851	244	116,838	139	71,742	15,916
	2	105,955	496	106,128	402	139,177	143	89,564	15,252
	3	124,959	434	118,804	294	172,915	128	107,578	14,641
	4	149,621	580	155,327	325	203,810	117	127,307	14,983
	5	207,009	258	184,201	130	301,814	144	164,412	11,329
	6								
	7								
	8								
	9								
	10								
	11								
	12								

※ 生後60日齢までの情報になっておりますので、ご注意ください。

令和6年5月乳牛市場成績

頭：千円：税込

市場名	開催日	育成牛（乳・乳系・他）				初妊牛（乳・乳系・他）				経産牛（乳・乳系・他）			
		成立頭数	最高値	最低値	平均値	成立頭数	最高値	最低値	平均値	成立頭数	最高値	最低値	平均値
十勝	5/13					442	1,080	266	610	44	669	209	447
十勝	5/15	407	494	54	297								
北海道	5/17	35	369	78	238	116	714	239	461	15	388	227	319
豊富	5/24					290	774	74	472	9	421	165	296
北見	5/27					252	673	110	440	1	264	264	264
十勝	5/28					472	849	66	495	57	739	92	363
釧路	5/29					212	705	198	470				
根室	5/30					413	759	220	466	1	235	235	235
豊富	5/31	182	421	7	266								
合計	9回	624	494	7	285	2,197	1,080	66	499	127	739	92	380
前年同月成績	8回	653	377	4	232	2,328	1,183	66	463	183	847	66	363
前月合計成績	10回	1,507	569	24	328	2,756	1,267	220	662	272	837	23	342

ホクレン乳牛市場開催日程

6月7日(金)	ホクレン釧路地区家畜市場	(大楽毛) 育成	7月8日(月)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音更)
6月10日(月)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音更)	7月10日(水)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音更) 育成
6月13日(木)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音更) 育成	7月12日(金)	ホクレン北海道家畜市場	(安平)
6月14日(金)	ホクレン北海道家畜市場	(安平)	7月19日(金)	ホクレン豊富地域家畜市場	(豊富) 育成
6月14日(金)	ホクレン北見地区総合家畜市場	(佐呂間) 育成	7月22日(月)	ホクレン根室地区家畜市場	(中標津)
6月19日(水)	ホクレン釧路地区家畜市場	(大楽毛)	7月23日(火)	ホクレン釧路地区家畜市場	(大楽毛)
6月20日(木)	ホクレン根室地区家畜市場	(中標津)	7月24日(水)	ホクレン北見地区総合家畜市場	(佐呂間)
6月21日(金)	ホクレン北見地区総合家畜市場	(佐呂間)	7月26日(金)	ホクレン豊富地域家畜市場	(豊富)
6月28日(金)	ホクレン豊富地域家畜市場	(豊富)			

ホクレン家畜市場所在地及び担当支所（問合せ先）

市場名	市場所在地	電話番号	担当支所・課	電話番号
北海道家畜市場	真弘郡安平町早来新栄4番地	0145-22-4109	苫小牧支所 酪農課	0144-36-1431
豊富地域家畜市場	天塩郡豊富町上サロベツ569番地の1	0162-82-3150	稚内支所 酪農課	0162-34-2131
十勝地区家畜市場	河東郡音更町字音更西2線9-1	0155-42-2231	帯広支所 酪農課	0155-66-8220
北見地区総合家畜市場	常呂郡佐呂間町西富127番地2	01587-2-2689	北見支所 酪農課	0157-23-9003
釧路地区家畜市場	釧路市大楽毛86番地1	0154-57-8457	釧路支所 酪農課	0154-23-6163
根室地区家畜市場	標津郡中標津町南中10番2	0153-72-1366	中標津支所 酪農課	0153-72-9967
ホクレン本所 酪農部 家畜販売課	札幌市中央区北4条西1丁目3番地	011-232-6188		

☆家畜車の手配につきましても、各市場担当課にて承っておりますのでご相談下さい。

北海道乳牛生産地情報

(令和6年6月1日現在)

事務所	畜種	相場(万円)	価格状況	管内状況
札幌管内	育成牛(10-12月令)	3.0~4.0	横這い	札幌管内の5月中旬までの生乳生産量前年比は、函館管内月計で98.8%、累計で98.8%、苫小牧管内月計で98.9%、累計で98.3%の実績となっております。
	初妊牛	5.0~6.0	弱含み	6月の初妊牛動向といたしまして、8月下旬~9月下旬分娩が中心となります。夏分娩中心の出回りとなることから、相場は軟調な動きを見せると予想されます。経産牛に關しても、取違されがちな夏分娩になりますが、産歴が少なく即戦力になる経産牛の需要があるため相場は横這いから、やや弱含みで推移すると見込まれます。優良牛や高能力牛の多い地域でもありますので、ご希望がございましたらお問合せください。
	経産牛	3.5~4.5	弱含み	根釧管内の5月中旬までの生乳生産量前年比は、釧路管内月計で101.5%、累計で102.1%、中標津管内月計で101.4%、累計で102.1%の実績となっております。
釧路管内	育成牛(10-12月令)	3.0~3.5	弱含み	6月の初妊牛動向といたしまして、8月下旬~9月中旬の分娩中心となります。初妊牛に關しては、夏分娩中心となることから、道内外での需要が少なく全体的に軟調傾向が続くと見込まれます。腹別の価格としては、F1腹の引き合いが強く、雌雄選別腹や和牛受精卵移植腹が軟調に推移すると予想されます。育成牛、経産牛価格はともに、初妊牛価格と同様に弱含みで推移するものと見込まれます。
	初妊牛	5.0~6.0	弱含み	帯広管内の5月中旬までの生乳生産量前年比は、帯広管内月計で100.7%、累計で100.5%の実績となっております。
	経産牛	4.5~5.0	弱含み	6月の初妊牛動向といたしまして、8月下旬~9月中旬分娩が中心となります。需要が落ち込む夏分娩中心となることから、価格は軟調に推移するものと見込まれます。腹別の資源状況につきましては、F1腹、雌雄選別腹ともに十分に確保できる状況です。和牛受精卵移植腹につきましては、道内需要が落ちつき、F1腹と雌雄選別腹の価格差が縮まっています。経産牛についても初妊牛同様、夏分娩中心となり弱含みで推移することが予想されますが、育成牛に關しては、春分娩に期待できる生まれ月となることから横這いに推移すると見込まれます。
帯広管内	育成牛(10-12月令)	3.7~4.7	横這い	道北管内の5月中旬までの生乳生産量前年比は、稚内管内月計で98.0%、累計で98.4%、北見管内月計で102.2%、累計で102.6%の実績となっております。
	初妊牛	5.0~6.0	弱含み	6月の初妊牛動向といたしまして、8月下旬~9月中旬分娩が中心となります。夏分娩中心で出回るため、分娩リスクを考慮する需要が落ち込み初妊牛相場は軟調に推移すると見込まれます。腹別の資源については、雌雄選別腹、F1腹とも確保できる状況です。経産牛に關しては、道内生乳生産の意欲が強くなり、即戦力を求める動きが高まっていますが、夏分娩の経産牛は動きが鈍く弱含みに推移すると見込まれます。
	経産牛	4.0~5.0	弱含み	道内の5月中旬までの生乳生産量前年比は100.7%、累計で100.8%の実績となっております。道内では放牧シーズンとなり、例年通り順調に1番牧草の収穫もスタートする時期になっていきます。
道北管内	育成牛(10-12月令)	3.5~4.5	横這い	6月の初妊牛動向といたしまして、夏分娩中心となる8月下旬~9月中旬分娩となります。夏分娩のリスクを回避する動きがある一方、授精遅れから夏分娩に集中しているケースもあり全国的に導入意欲は低いものと見込まれます。一部、産歴の少ない即戦力の経産牛や春生まれの育成牛の育成人気はあるものの、総じて価格は軟調に推移するものと思われま。弊会としても引き続き道内資源状況を確認しながらご希望にあつた搾乳用素牛を供給していきたいと思っております。
	初妊牛	5.0~6.0	弱含み	
	経産牛	4.0~5.0	弱含み	
道内総括	育成牛(10-12月令)	3.5~4.5	横這い	
	初妊牛	5.0~6.0	弱含み	
	経産牛	4.0~5.0	弱含み	

*上記相場は、血統登録牛(中クラス)の庭先選者購買による予想相場です。

庭先選者購買のため、市場購買とは異なります。

毎度、乳牛購買事業に大変ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
乳牛の導入計画がありましたら、最寄りの支所へご一報下さい。
担当がお伺いし、最近の状況をご説明し、納得いただけよう購買のお手伝いを致します。
また、購買後の輸送・事故処理は責任を持って最寄りの支所と札幌支所がお世話申し上げます。

全国酪農業協同組合連合会(全酪連)

札幌支所

☎011-241-0765

《各事務所電話番号》
 札幌事務所 ☎(0154)52-1232
 根室駐在員事務所 ☎(0153)76-1877
 帯広事務所 ☎(0155)37-6051
 道北事務所 ☎(01654)2-2368

令和6年6月10日

輸入粗飼料の情勢

全酪連大阪支所
酪農生産研究会

北米コンテナ船情勢

北米西海岸航路は乗継航路を含めて主要な本船スケジュールの乱れが続いており、遅延が発生しています。特に、スエズ運河近くの紅海での混乱が大きく影響し、アジアの主要乗継地であるシンガポール港や釜山港では混雑が相次ぎ、慢性的なコンテナ不足や遅延に拍車をかけています。船会社はスケジュール調整のためにブランクセーリング（抜港）や一部の長距離航路を欠航する対応を行っていますが、状況の回復までは時間が掛かる見込みです。

また、11月の米国大統領選挙の結果次第では、中国から米国への貨物に関税をかける可能性もあることから駆け込み需要も増加しています。

カナダでは鉄道労働組合(TCRC: Teamsters Canada Rail Conference)とカナディアン・ナショナル鉄道(CN)および、カナダ太平洋カンザスシティ・サザン鉄道(CPKC)の労使交渉が難航しています。TCRC側は投票によりストライキ実施権を獲得しましたが、具体的な日程は確定しておらず、進展がない状況が続いているため、注視が必要です。

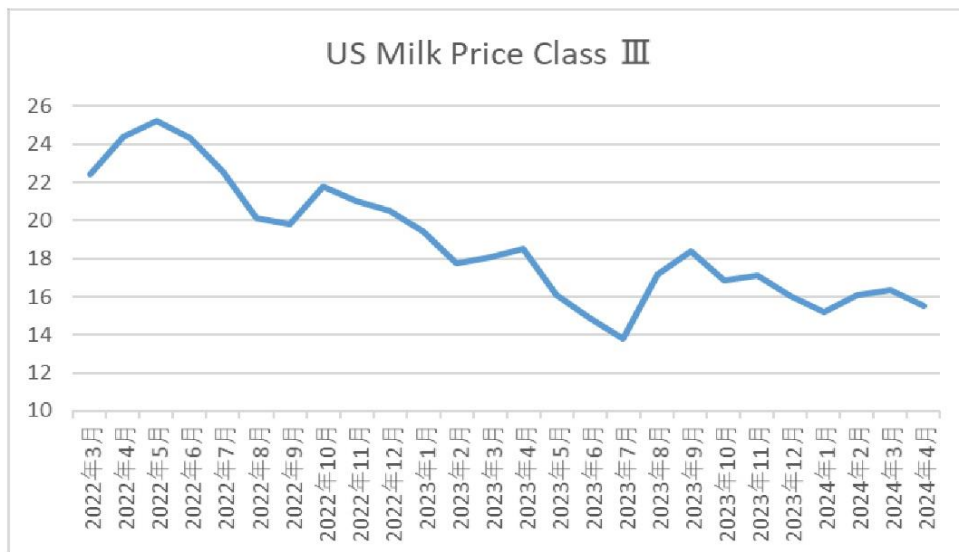
ビートパルプ

【米国】

産地では天候不良により一部遅れていた24-25年産ビートの播種作業が終了しています。ビートパルプの市場については堅調な米国内需に加え、ヨーロッパからの引き合いもあり順調に出荷されています。

米国乳価について

USDA（米国農務省）の発表によると、乳製品市場は世界的な物価上昇の影響で停滞しており、その多くを占めるチーズの需要が低迷しています。4月の全米平均クラスⅢ乳価（チーズ向け乳価）は100ポンドあたり\$15.50と2022年5月（\$25.21）をピークに減少しています。乳価の低迷により米国内の酪農家は積極的に買付をすることができず、アルファルファの産地相場は落ち着いていますが、今後の乳価や作況次第では需要が変化する可能性もあり注視が必要です。



(出典：USDA 全米平均クラスⅢ乳価 単位：米国ドル/100ポンド)

アルファルファ

ワシントン州

主産地であるコロンビアベースンでは、1番刈の収穫作業が終盤を迎えています。降雨被害を受けた圃場や、冷涼な気候の影響で乾燥期間が長引いたことにより過乾燥や色褪せた品質も発生していますが、葉付が良く色目が良好な上級品が多く収穫されています。産地相場は米国内の乳価も低迷していることから需要は停滞しており、一部の生産農家は1番刈終了後にトウモロコシや豆類に転作すると予想されています。



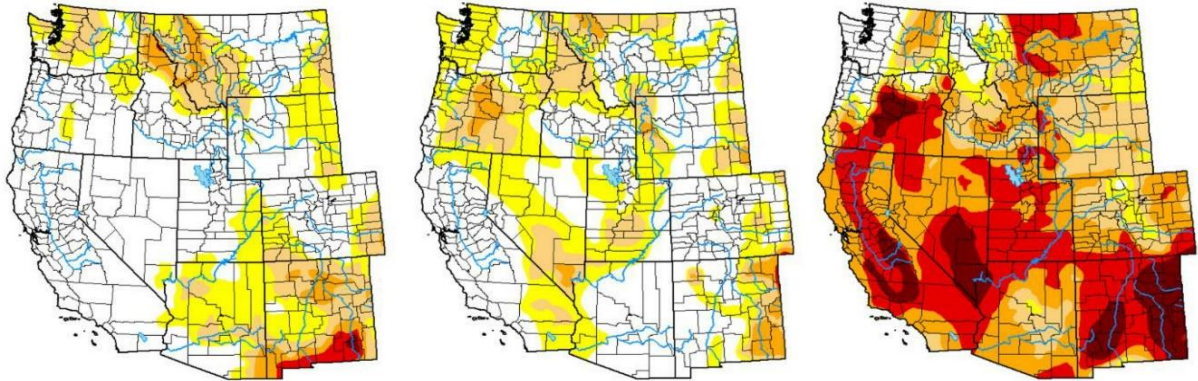
24年産1番刈アルファルファ キュアリング（乾燥）中の圃場
(5月下旬コロンビアベースンにて撮影)

オレゴン州

オレゴン州南部クラマスフォールズでは1番刈の収穫作業が開始されています。2

4年は干ばつによる水問題もなく、生産への影響はない見通しです。

同州中部クリスマスバレーでは5月に入っても最低気温が氷点下になるほど冷涼な気候が続いており、収穫作業は6月下旬から開始される見込みとなっています。高成分品質を求め米国内の買付業者や輸出業者との買付競争も激化することから相場上昇が懸念されています。



米国西部州における5月下旬の干ばつ状況の比較
 左から2024年、中2023年、右2022年
 色が濃い（赤）ほど干ばつが深刻な状況
 （出典：Drought Monitor）

カリフォルニア州

カリフォルニア州南部インペリアルバレーでは、春先の冷涼な気候により収穫作業全体に遅れが出ていますが、現在3番刈の収穫が終盤を迎えており、圃場によっては4番刈の収穫が開始されています。3番刈は上級品～中級品までの品質が発生していますが、産地での気温も上昇し始めていることから、直近で収穫された品質は低下しており中級品～低級品の発生が中心となっています。5月に引き続き、米国内の酪農家は乳価が低迷していることもあり必要分のみ買付している程度で、輸出向けについても積極的な買付は行われていませんが、中東向けで高成分な品質の引き合いが出てきている状況です。

インペリアルバレー灌漑局の発表によると、5月15日時点でのアルファルファの作付面積は144,365エーカー（前年同期は152,480エーカー）と前年同期比95%と減少しています。

ユタ州

産地では1番刈の収穫作業が行われています。冬季期間に十分な降雨、降雪があっ

たことで干ばつ状況も改善され、生産環境は好転しており、このまま良好な天候下で収穫作業が進めば良品が多く発生する見込みです。24年産は生産周期によりアルファルファへのクロップローテーション（輪作）が多く、作付面積、生産量は増加する見込みです。産地での未成約在庫は中～低級品が中心で、上級品については近隣州からの引き合いもあり限定的です。



（24年産1番刈アルファルファ圃場 5月中旬ユタ州にて撮影）

米国産チモシー

主産地であるワシントン州コロンビアベースン及びエレンズバーグでは、1番刈の収穫作業が開始されています。相場の低迷から1番刈収穫後に豆類やジャガイモへの転作が予想されていることに加え、貯水池の水不足の影響からエレンズバーグで夏期以降に取水制限が行われると見込まれており、2番刈生産量の減少が懸念されています。

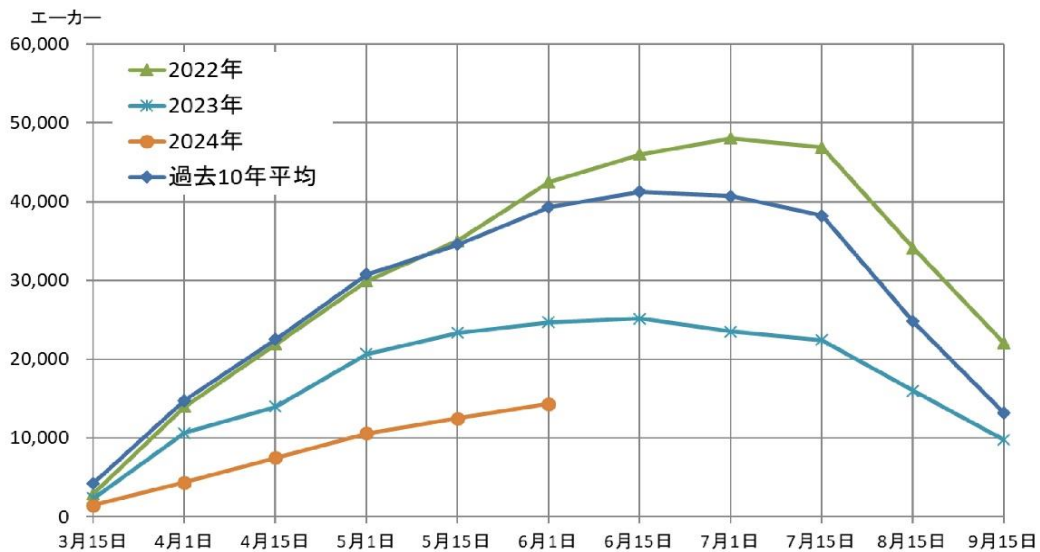
また、米国内の馬糧向け需要も堅調に推移していることや一部の輸出業者が保持していた繰り越し在庫の出荷目途もついていることから、生産より需要が上回り、産地相場高騰の一因になり得ることも考えられるため注視が必要です。

スーダングラス

主産地であるカリフォルニア州南部インペリアルバレーでは、現在24年産の収穫作業が順次開始されています。1番刈の収穫作業終了後、2番刈に進むかどうかは相場次第と考えている生産者も多く、2番刈での発生が多い中～低級品の発生は限定的になる見込みです。23年産の在庫に加え、未だに22年産の旧穀在庫を抱えている輸出業者もいるため作付面積の減少による供給力に懸念はありませんが、今後の相場次第では今期の生産量と繰り越し在庫より需要が上回ることも考えられるため注視が必要です。

灌漑局の発表によると、6月1日時点の作付面積は14,371エーカー（前年同期は24,704エーカー）となっており、前年同期比58%と、低水準での推移が続い

ています。



インペリアルバレー スーダングラス作付面積推移 (単位：エーカー)

クレイングラス (クレインは全酪連の登録商標です)

主産地であるカリフォルニア州南部インペリアルバレーでは、1 番刈の収穫作業が終盤を迎えており、圃場によっては2 番刈の収穫が開始されています。これまで収穫された1 番刈の品質は良好で柔らかな上級品が大半ですが、一部春先の冷涼な天候で草が伸び切らず成熟した中級品も発生しています。

灌漑局の発表によると、5月15日時点の作付面積は21,353エーカー (前年同期22,170エーカー) となっており、前年同期比98%とやや減少しています。

日本向けの出荷は安定していますが、韓国向けでオレゴン産ストローの在庫が限定的ということもあり代替としての需要が増加しています。

ファロープログラム (休耕地政策) について、政府当局内での協議は最終局面を迎えています。実施の有無については未だ決定されていません。

バミューダ

主産地であるカリフォルニア州南部インペリアルバレー灌漑局の発表によると、5月15日時点の作付面積は66,447エーカー (前年同期：64,852エーカー) と前年比102%とやや増加しています。

現在、バミューダヘイ2 番刈の収穫作業が開始されており、米国内馬糧向けに取引されています。ストロー生産は種子収穫が終了した圃場で6月中～下旬から開始される見通しで、安価な繊維源としての需要も増加しており荷動きは堅調に推移しています。

カナダ産チモシー

主産地であるアルバータ州南部レスブリッジ地区では土壌の水分状態を危惧する声も出ていましたが、4月下旬以降、降雨に恵まれ土壌状態は良好で、1番刈の収穫は7月中旬頃から開始される見込みです。

同州中部のクレモナ地区では昨年、干ばつや降雨の影響で良品は限定的となりましたが、土壌状態も良好なことから良品の生産が期待されています。産地在庫はカナダ国内の酪農家からの引き合いが堅調ということもあり限定的です。

豪州産オーツハイ・ウィートストロー

24年産のオーツハイの播種作業は最終盤を迎えています。春先までの降雨不足による影響で圃場は乾燥していましたが、5月から西豪州の多くの地域で降雨があり、6月に入っても東豪州や南豪州で降雨が続いたことで生育期のオーツハイにとって恵みの雨となっています。今後、降雨が続けば生産に問題はない見通しですが、乾燥した気候が続くと収量への影響も危惧されることから注視が必要です。

韓国および台湾向けの輸出量は例年をやや上回る水準で堅調に推移しており、中国向け出荷については海運の乱れもあり少々停滞しています。

豪州海運情勢については紅海問題やアジア地域の積替港に残留している大量のコンテナの影響により、本船スケジュールの乱れが続いています。多くの船社はblank sailing（抜港）や寄港スケジュールの調整を通して正常化に努めていますが、解決には時間が掛かる見通しです。

以上